

教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
現在の地域や都市は様々な問題を抱えている, これらの課題を解決し, 21世紀の新たな地域や都市を創造するためには, これまでの地域計画や都市計画の課題を整理し, 地域計画と都市計画の体系的・統合的な理解が不可欠と考えられる。そこで本講義では, 地域計画と都市計画を総合的な観点から理解してもらうために, 地域計画・都市計画の内外の歴史, わが国における地域計画と都市計画の変遷, 現在の都市が抱えている様々な課題や住民参加による地域づくりについて解説するものである。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(E1), JABEE目標(d2a)	
(1)地域計画・都市計画の内外の歴史やわが国における地域計画と都市計画の変遷が理解できる。(定期試験)			
(2)地域計画と経済の関係が理解できる。(定期試験)			
(3)現在の都市が抱える様々な課題を理解できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 世界の地域・都市計画	イギリス・アメリカの地域計画を理解する。	【理解の度合い】
2	2. 世界の地域・都市計画	フランス・ドイツの地域計画を理解する。	
3	3. 日本の地域計画	戦前・戦後の地域計画を理解できる。	
4	4. 日本の地域計画	全国総合開発計画の歴史と変遷を理解できる。	
5	5. 地域計画と経済の関係	市場の失敗を理解できる。	
6	6. 地域計画と経済の関係	PFIの歴史と現状を理解できる。	
7	7. 地域計画と経済の関係	財の便益計測を理解できる。	
8	8. 交通施設と公共交通	路面電車・LRTを学ぶ。	
9	9. 交通施設と公共交通	バスの必要性を理解できる。	
10	10. 交通渋滞対策	交通渋滞対策のハード面とソフト面の対策を理解する。	
11	11. 都市再生事業	まちづくり三法, 特に中心市街地活性化法を理解できる。	
12	12. 都市再生事業		
13	13. 住民参加による地域づくり	PI, NPOを理解できる。	
14	14. 住民参加による地域づくり	アダプト・プログラムを理解できる。	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
-----			
履修上の注意	地域・都市問題に興味を持つ学生の受講を望む。また, 適宜プリントを配布するので, ファイルを用意しておくこと。		【総合達成度】
教科書	湯沢昭編著『地域・都市計画』, 鹿島出版会		
参考図書	日本まちづくり協会編, 『地域計画』, 森北出版		
事前準備学習	事前にインターネットで学習する範囲を調べておくこと。		
関連科目	交通システム工学, 環境計画(C科), 都市計画(C科), 景観デザイン, 交通工学(C科)		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験で評価する。 総合評価 = 定期試験の評点 総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点